

夢は、南の果てにある。
太陽と海と野生動物。天然づくし、くしまし。

くしま広報

1

No.1097
毎月1日発行
January 2023



KUSHIDELIGRAM



公式LINE

P2~3

くしまを振り返るin2022

P4~5

第2回くしま検定

P16~17

令和3年度決算を
お知らせします

P18

新連載！
武田類の飲食店放浪記

P24

市・県民税の
申告相談が始まります

えーいとなー

とーんとなー

はしらまつ 市木小児童が柱松に 模擬たいまつ投げ入れ

市木小学校は12月7日、「子ども柱松」を行いました。子ども柱松は、市木地区に300年以上前から伝わる五穀豊穡(ほうじょう)を願う伝統行事「市木古式十五夜柱松『火祭』(市木柱松)」を子どもたちに継承しようと、2008年から火祭りと合わせて実施。3年前からはコロナ禍の影響で開催ができていない中、児童らの体験の機会を確保するため今回、参観日を利用して行いました。

児童は竹を使って高さ約10メートルの柱松を設置し、紙コップと粘土で作った模擬たいまつを「えーいとなー」「とーんとなー」の掛け声に合わせて、柱松に取り付けられた的に投げ入れました。

3年生の末吉天悟くんは「火祭りがなかったのは残念だったけど、たいまつを入れられてうれしかった。来年は祭りで子ども柱松をやりたい」と笑顔で話していました。